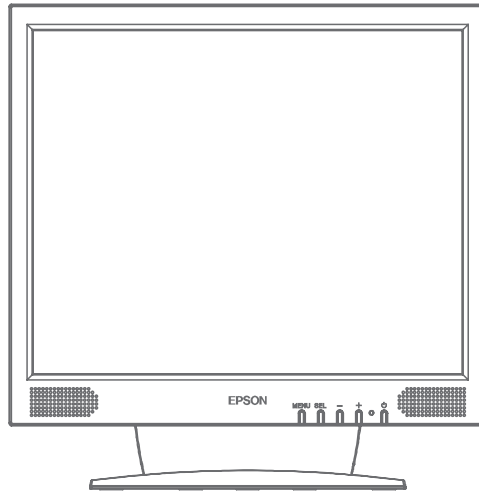
EPSON

17型液晶ディスプレイ

取扱説明書



LCV-17ADT

■ 本機を安全に正しくお使いいただくために、設置・ご使用の前に、本書の内容をよくお読みください。

■ 本書はご不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

C77254001

安全にお使いいただくために

本書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注 意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警 告

煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントからぬいて、販売店、サービスセンター、または修理センターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグにさわらないでください。
感電の原因となります。

交流100Vの電源以外では使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

⚠警 告

通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店、サービスセンター、または修理センターにご相談ください。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。
・ 電源コードを加工しない。
・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりしない。
・ 電源コードの上に重いものを載せない。
・ 熱器具の近くに配線しない。
電源コードが破損したら、販売店、サービスセンター、または修理センターにご相談ください。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
家庭用電源コンセント(交流100V)から電源を直接取ってください。

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。

電源コンセントに電源プラグを接続したまま分解しないでください。
感電・火傷の原因となります。

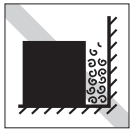
⚠注 意

小さなお子様の手の届くところには設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の危険があります。

本製品の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。
設置する際は、次の点を守ってください。
・ 押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
・ じゅうたんや布団の上などに設置しない。
・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。



ACアダプタは、本製品以外には使用しないでください。
火傷・火災の危険があります。

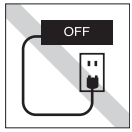
ACアダプタの温度の高い部分に、長時間直接触れないでください。
低温火傷の原因になります。

ACアダプタを毛布や布団で覆わないでください。
火傷・火災の危険があります。

破損したACアダプタを使用しないでください。
火傷・火災の危険があります。

⚠注 意

連休や旅行等で長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



各種コード(ケーブル)は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。

液晶ディスプレイが破損して、内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、触ったりしないでください。火傷や化学物質による被害の原因となります。万一、液体が皮膚に付着したり、目に入った場合は流水で十分に洗い、医師に相談してください 。

目　次

目　次 6

マニュアル中の表記について 7

添付品の確認 8

本機の特長 9

各部の名称と働き 10
- 本機前面 10
- 本機背面 11

使用上の注意事項 12

コンピュータと接続する 13
- 設置における注意 13
- 各種コード（ケーブル）接続時の注意 14
- 接続前の確認事項 14

電源の入れ方 / 切り方 20
- 電源の入れ方 20
- 電源の切り方 20
- 省電力機能について 21

画面の調整 22
- 自動画面調整について（アナログ接続のみ） 22
- 各ボタンの機能について 23
- OSD メニューで画面表示の調整を行う 24
- ポップアップメニューで画面表示の調整を行う 32

お手入れ 34
- 外装 34
- 液晶パネル部分 34

困ったときは 35
- 修理を依頼する前に 36

機能仕様一覧 37
- 対応信号タイミング 38

マニュアル中の表記について

本書では次のような記号を使用しています。

安全に関する記号

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	説明文が次ページに続くことを示します。
	参照ページを示します。
１ ２	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

添付品の確認

17型液晶ディスプレイ(以下、本機)には、次の添付品が梱包されています。すべて揃っていることを確認してください。万一、不足や不良がございましたら、販売店、サービスセンターまたは修理センターまでご連絡ください。
梱包箱は、輸送時などに備えて保存しておいてください。

□ ディスプレイ本体

□ 取扱説明書(本書)

□ VGAケーブル

□ DVI-Dケーブル

□ Audioケーブル

□ ACアダプタ

□ 電源コード

□ サポートのご案内

□ 保証書

本機の特長

本機の特長は次のとおりです。

① 表示

17型カラーTFT液晶パネルを搭載し、解像度は最大で1280ドット×1024ライン（SXGA）、色数は約1619万色表示に対応しています。

② インタフェース

VGAコネクタ（アナログ）、DVI-Dコネクタ（デジタル）を装備しています。お使いになるコンピュータに応じてアナログ/デジタルを使い分けることができます。

③ サウンド機能

Audioコネクタおよびスピーカを装備しています。添付のAudioケーブルでコンピュータと接続すると、コンピュータの音声を本機のスピーカから出力することができます。

④ 画面調整

OSD（オンスクリーンディスプレイ）により、ディスプレイの様々な調整ができます。

⑤ 省電力機能

本機を使用していない間、スタンバイ状態にして消費電力を抑えることができます。

⑥ デュアル入力（切り替え機能付き）

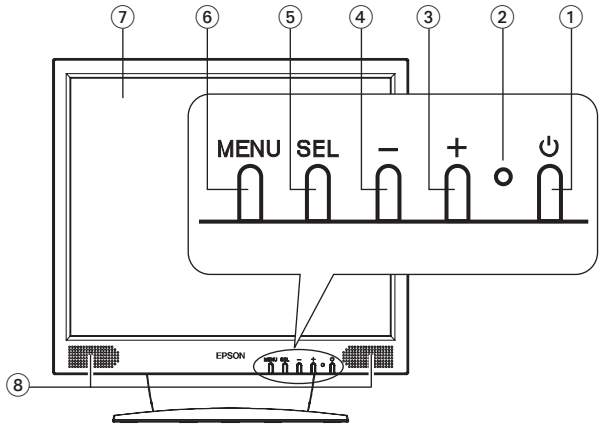
2台のコンピュータを同時にアナログ、デジタル両方に接続することができます。また、2台のコンピュータの表示をワンタッチで切り替えることができます。

⑦ DDC-2B（Display Data Channel）

本機はDDC-2Bに準拠しています。そのため、本機をコンピュータに接続すると解像度やリフレッシュレートなどの設定が自動で行われ、すぐに使用することができます。

各部の名称と働き

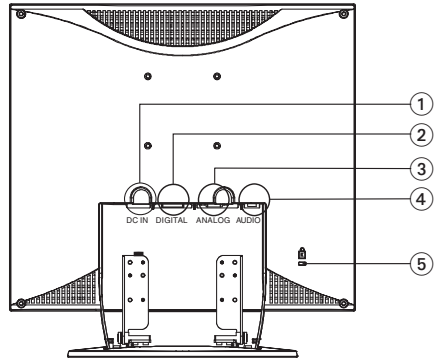
本機前面



番号	操作ボタン	機　能
①	電源スイッチ［⏻］	本機の電源の入／切を行います。
②	電源表示ランプ	本機の動作状態をランプの色で表示します。 グリーンランプ点灯:通常動作 オレンジランプ点灯:スタンバイ時 消灯:電源切断時
③	［+］	画面輝度の調節画面を表示します。 OSDメニュー表示時は、値を設定します。 ☞ p.22「画面の調整」
④	［−］	スピーカ音量の調節画面を表示します。 OSDメニュー表示時は、値を設定します。 ☞ p.22「画面の調整」
⑤	SEL	アナログ/デジタル入力の切り替えを行います。OSDメニュー表示時は、設定項目の選択などを行います。 ☞ p.22「画面の調整」

⑥	MENU	画面の調整を行うOSDメニューを表示します。OSDメニュー表示時は、設定メニューの選択などを行います。p.22「画面の調整」
⑦	液晶パネル	本機に入力された信号をもとに、文字や画像などを表示します。
⑧	スピーカ	Audioケーブルで接続されたコンピュータの音声を出力します。

本機背面



番号	名　称	操作説明
①	電源コネクタ DC IN	ACアダプタを接続して本機に電源を供給します。
②	DVI-Dコネクタ DIGITAL	DVI-Dコネクタを装備したコンピュータとDVI-Dケーブルで接続します。
③	VGAコネクタ ANALOG	VGAコネクタを装備したコンピュータとVGAケーブルで接続します。
④	Audioコネクタ AUDIO	ライン出力コネクタを装備したコンピュータとAudioケーブルで接続します。
⑤	セキュリティロックスロット	市販の盗難防止ケーブル(ワイヤー)を接続します(ケンジントン社製セキュリティロックに対応しています)。

使用上の注意事項

本機をお使いになる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。また、本書巻頭の「安全にお使いいただくために」も必ずお読みください。

●本機を移動させる場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから、行ってください。

●液晶パネルは傷つきやすいため、液晶パネルについたホコリは、柔らかい布などで拭いてください。

●本機を叩いたり、硬いものでこすったりしないでください。また、ベンジン・シンナーなどで拭いたりしないでください。
変形、キズ、破損の原因となり、本機が変質したり塗料がはげることがあります。

●1280 × 1024 以外の解像度で使用すると、解像度拡大機能で画面が拡大されますので、文字などの線の太さが均一にならない場合があります。また縦横比を保持して表示すると、画面の上下に何も表示されないエリアがありますが、故障ではありません。

●液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られていますが、ごくわずかに画素抜けや常時点灯する画素が存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

コンピュータと接続する

本機をコンピュータに接続する手順を説明します。接続する前に、本書巻頭の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。また、接続するコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』−「コンピュータの設置」も合わせてお読みください。

設置における注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
  落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本製品の通風孔をふさがないでください。
  通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。
- 設置する際は、次の点を守ってください。
  - 押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
  - じゅうたんや布団の上などに設置しない。
  - 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード(ケーブル)接続時の注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。
  発熱し、火災の原因となります。
- 家庭用電源コンセント(交流 100V)から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
  取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
  ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。

各種コード(ケーブル)は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。

接続前の確認事項

本機は、VGAコネクタとDVI-Dコネクタを装備しています。お使いのコンピュータがVGAコネクタとDVI-Dコネクタ両方のコネクタを装備している場合は、DVI-Dコネクタを使用します。
本機のDVI-Dコネクタとコンピュータの DVI-Dコネクタを、添付のDVI-Dケーブルで接続します。

本機とコンピュータの接続は、次の手順で行います。

・ 接続は、本機およびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。

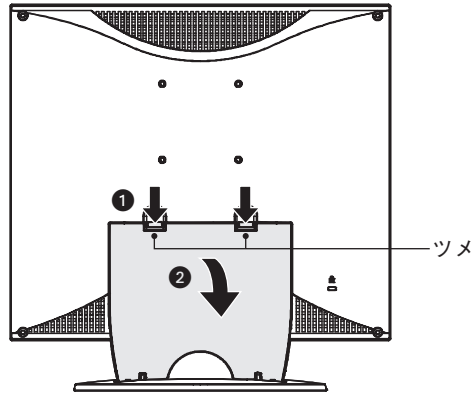
・ コードやコネクタを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。

1 **ディスプレイを風通しのよい平らな場所に設置します。**

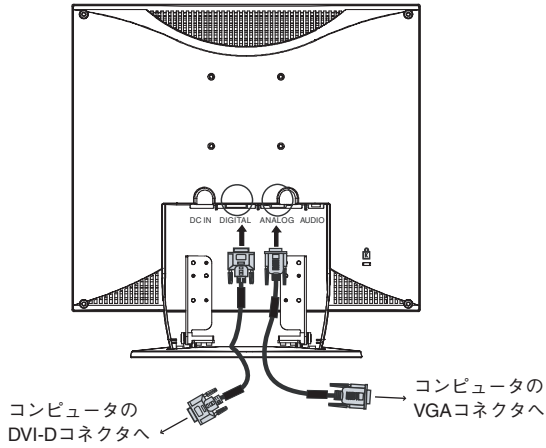
2 **本機背面のヒンジカバーを外します。**

❶ 2つのツメを外します。

❷ ヒンジカバーを手前に倒して、取り外します。



3 VGAケーブルまたはDVI-Dケーブルを、本機とコンピュータに接続します。



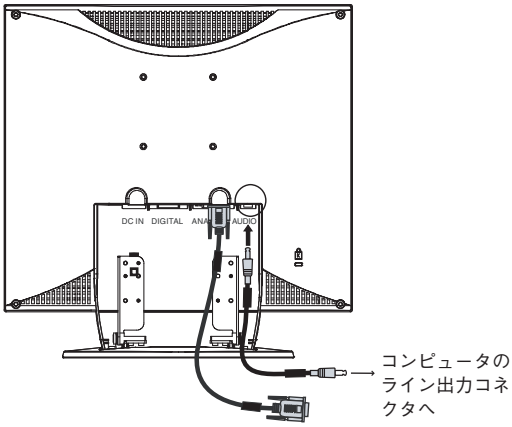
VGAケーブルの場合 ： VGAケーブルを、本機のVGAコネクタと、コンピュータのVGAコネクタに接続します。

DVI-Dケーブルの場合: DVI-Dケーブルを、本機のDVI-Dコネクタと、コンピュータのDVI-Dコネクタに接続します。

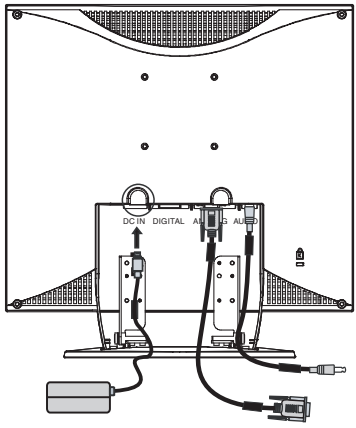
ケーブルを接続したあとは、コネクタの両側のネジをしっかりと固定します。

本機は、アナログ/デジタルのデュアル入力に対応しています。2台のコンピュータを本機に同時に接続して、表示を切り替えて使用することができます。

4 添付のAudioケーブルを、本機のAudioコネクタとコンピュータのライン出力コネクタに接続します。



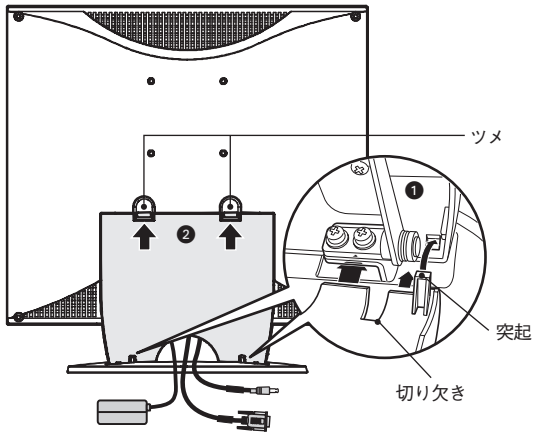
5 添付のACアダプタを、本機の電源コネクタに接続します。



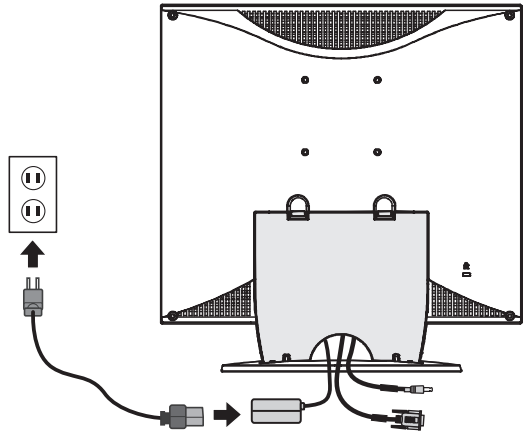
6 ヒンジカバーを取り付けます。

❶ 接続したケーブル類をヒンジカバーの隙間から出すようにして、ヒンジカバーの切り欠きと突起を本機に合わせます。

❷ ヒンジカバーのツメを本機に合わせます。正しく取り付けられたら「カチッ」と音がします。

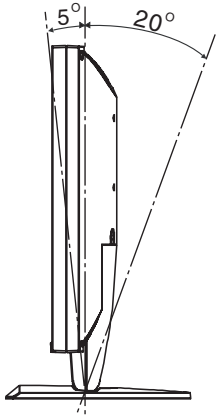


7 電源コードを、ACアダプタと電源コンセントに接続します。



8 **本機の角度を調節します。これでコンピュータとの接続は終了です。**

前方向に約5°、後方に約20°まで角度調節することができます。



電源の入れ方/切り方

本章では、本機の電源の入れ方、切り方および省電力機能について説明しています。コンピュータの電源の入れ方、切り方は、コンピュータに添付のマニュアルをお読みください。

本機の電源を入れる時は、音量に注意してください。電源を入れる前に、本機とコンピュータの音量を小さくしておいてください。音量が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。

電源の入れ方

本機の電源の入れ方は次のとおりです。コンピュータの電源を入れる前に、本機の電源を入れます。

1 **本機前面の電源スイッチを押して、電源を入れます。**

2 **コンピュータの電源を入れます。**
電源表示ランプが緑色に点灯して、画面が表示されます。

電源の切り方

本機の電源の切り方は次のとおりです。コンピュータの電源を切ってから、本機の電源を切ります。

1 **コンピュータの電源を切ります。**

2 **本機前面の電源スイッチを押して、電源を切ります。**
電源表示ランプが消灯して、画面が消えます。

省電力機能について

本機は省電力機能を搭載しています。使用するコンピュータが省電力機能をサポートしている場合、コンピュータ側でスタンバイなどの設定をすると、本機の画面表示を消して消費電力を抑えることができます。

詳しくは、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』－「省電力機能を使う」をお読みください。

本機の通常動作時と省電力機能がはたらいているときの消費電力は次のとおりです。

動作状態	消費電力	操作説明
通常動作時	最大45W	電源表示ランプが緑色に点灯。
スタンバイ	3W以下	画面表示が消え、電源表示ランプがオレンジ色に点灯。

画面の調整

本機は、接続するコンピュータや解像度に合わせて、画面の調整を行うことができます。

自動画面調整について（アナログ接続のみ）

購入後本機を初めて使用する場合や、別のコンピュータに接続しなおしたときなどは、本機を使用する前に自動画面調整を行います。自動画面調整は、本機をアナログ接続で使用する場合に行ってください。デジタル接続で使用する場合は、自動画面調整を行う必要はありません。

自動画面調整では、「クロック」、「フェーズ」、「水平表示位置」、「垂直表示位置」を自動的に調整します。

自動画面調整を行うときは、次の点を守ってください。

- 本機の動作を安定させるために、本機の電源を入れて30分以上経過してから行う。
- Windowsのデスクトップ画面などを表示して行う。

デスクトップ画面の背景に黒色のものを使用している場合は、自動画面調整を行っても正常に調整されない場合があります。この場合は、黒色以外の背景を使用してください。

自動画面調整は、次の手順で行います。

1 [MENU]ボタンを押します。

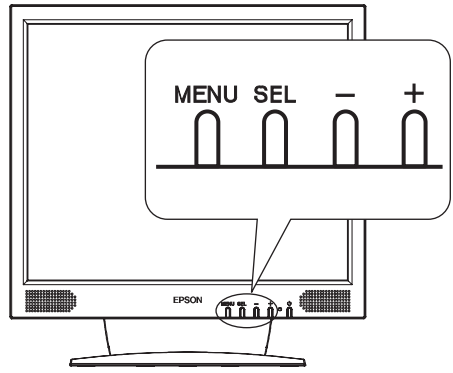
2 「画面調整」画面が表示されたら、[+]ボタンを押します。

自動画面調整を行っても、クロックやフェーズ、表示位置が合わないときは、自動画面調整を２～３回繰り返してみてください。その後必要に応じて、手動で調整してください。

各ボタンの機能について

本機前面の各ボタンには、それぞれ機能が割り付けられています。
各ボタンを押すと、画面表示に関する設定画面(On-Screen-Display、以降OSDメニュー)や、ポップアップメニューが表示されます。OSDメニューでは、お好みに応じて本機の画面表示を調整することができます。また、ポップアップメニューで、輝度や音量などの設定メニューを直接表示して調整することもできます。

各ボタンに割り付けられている機能は次のとおりです。



ボタン	OSDメニューでの機能	ポップアップメニューでの機能
MENU	OSDメニューを表示します。OSDメニュー表示時には、次の設定メニューを表示します。	ポップアップメニューを消します。
SEL	各設定メニュー内の設定項目を選択します。	輝度設定「1」「2」および音量のミュート「ON」「OFF」の切り替えを行います。
–	各設定項目の値を変更します。	前面のスピーカから出力される音量の調節画面を表示します。
+	各設定項目の値を変更します。	画面輝度の調節画面を表示します。

OSDメニューで画面表示の調整を行う

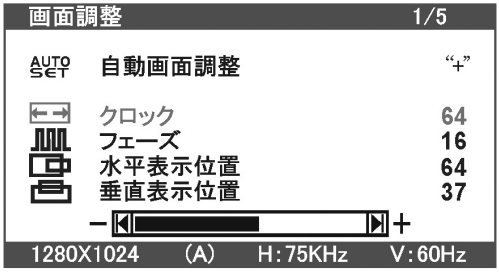
画面表示位置がずれているので調整したい、画面が暗いので明るくしたいなど、画面に関する細かい設定は、OSDメニューで行います。

● OSDメニューの起動方法と操作方法

OSDメニューの起動方法と操作方法は次のとおりです。

1 **[MENU]ボタンを押して、OSDメニューを起動します。起動すると、「画面調整」メニューが表示されます。**

デジタル接続の場合は、「表示バランス調整」メニューが表示されます。



2 **[MENU]ボタンを押して、調整したい項目が含まれているメニューを選択します。**

[MENU]ボタンを押すごとに、次のようにメニューが切り替わります。

アナログ接続の場合

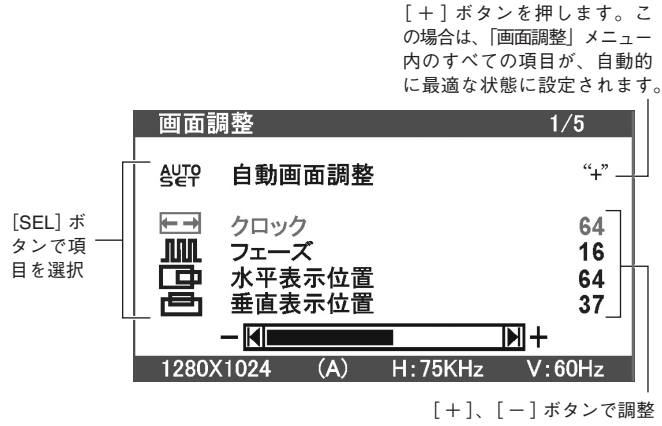
画面調整 → 表示バランス調整 → 色温度設定 → オーディオ/その他 → オプション

デジタル接続の場合

表示バランス調整 → 色温度設定 → オーディオ/その他 → オプション

3 **[SEL]ボタンを押して項目を選択します。[−]、[+]ボタンで、選択した項目の設定値を調整します。ここでは、「画面調整」メニューについて説明しています。ほかのメニューも同様の操作です。**

赤字で表示されている項目が選択されている項目です。



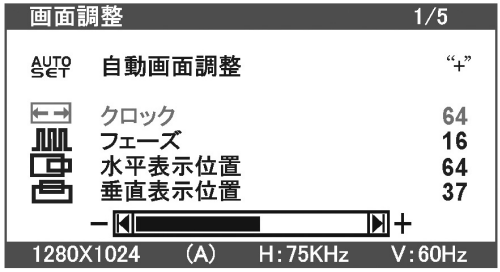
4 **OSDメニューを終了するときは、[MENU]ボタンを何度か押して終了します。メニューオフタイマーにより、自動的に終了することもできます。**

p.31「オプション」−「メニューオフタイマー」

● 設定できる項目

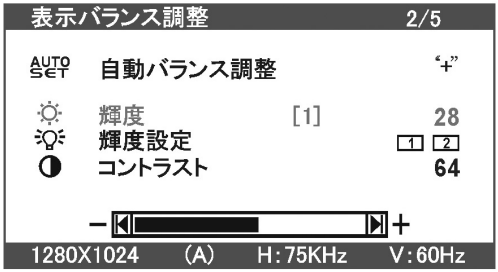
OSDメニューで設定できる項目は次のとおりです。

画面調整(アナログ接続時のみ)



自動画面調整	[+]ボタンを押すと、クロック・フェーズ・水平表示位置・垂直表示位置を自動的に最適な状態に調整します。
クロック	表示画面に縦縞状のノイズが入っているときに調整します。設定値は0～127の範囲で調整できます。
フェーズ	画面のにじみやちらつきを調整します。設定値は0～32の範囲で調整できます。
水平表示位置	表示画面を左右に移動して調整します。[+]ボタンで右方向に、[−]ボタンで左方向に表示画面が移動します。初期値は63で、設定値は0～127の範囲で調整できます。
垂直表示位置	表示画面を上下に移動して調整します。[+]ボタンで上方向に、[−]ボタンで下方向に表示画面が移動します。初期値は64で、設定値は0～127の範囲で調整できます。

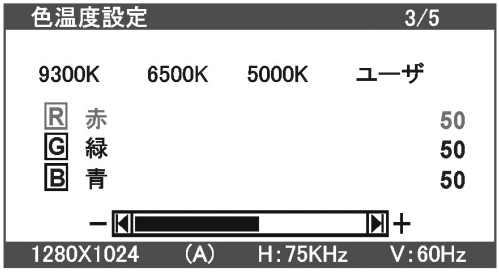
表示バランス調整



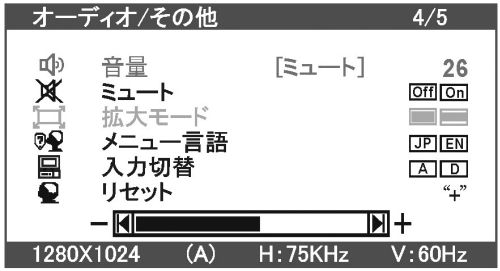
自動バランス調整＊	[＋]ボタンを押すと、輝度・輝度設定・コントラストを、自動的に最適な状態に調整します。
輝　　度 輝度設定	本機では、2種類の輝度を設定して使い分けることができます。「輝度設定」で「1」または「2」を選択して、「輝度」で設定値を調整します。 輝度設定：[＋]ボタンで「2」、[－]ボタンで「1」が選択できます。 輝　　度：[＋]、[－]ボタンで、0 ～ 32 の範囲で調整できます。 「1」、「2」の初期値は、それぞれ32、0です。自動バランス調整を行うと、「輝度設定」は「1」に戻り、輝度は「1」の設定値のみ初期値32に戻ります。 ポップアップメニューでも調整できます。 ☞ p.32「ポップアップメニューで画面表示の調整を行う」
コントラスト＊	画面のコントラスト（明暗比）を調整します。初期値は64で、設定値は0～100の範囲で調整できます。

＊デジタル接続時は、選択できません。

色温度設定



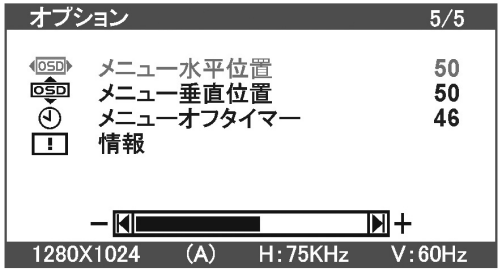
9300K	画面表示を、標準より青みがかった色調にします。
6500K	初期値で、標準の色調です。
5000K	画面表示を、標準より赤みがかった色調にします。
ユーザー （赤、緑、青）	「赤」、「緑」、「青」の設定値を変更して、お好みの色調に調整できます。「赤」、「緑」、「青」の設定値は0～100の範囲で調整できます。



音量	本機前面のスピーカから出力される音量を調整します。初期値は25で、設定値は0～50の範囲で調整できます。ポップアップメニューでも調整できます。 ☞ p.32「ポップアップメニューで画面表示の調整を行う」
ミュート	本機前面のスピーカから出力される音量をミュート(消音)に設定します。[+]ボタンで「ON」、[−]ボタンで「OFF」が選択できます。「ON」に設定するとミュートになり、音声が出力されなくなります。ミュート時は、画面右上に赤色のミュートアイコンが表示されます。 <ミュートアイコン> ポップアップメニューでも調整できます。 ☞ p.32「ポップアップメニューで画面表示の調整を行う」
拡大モード	表示画面の縦横比の調整をします。SXGA以外の解像度で画面を表示した場合、全画面に拡大して表示するか、縦横比を保持したまま表示するかを選択します。[−]ボタンで全画面表示、[+]ボタンで縦横比を保持した表示に設定します。初期値は、全画面表示です。

メニュー言語	OSDメニューの表示言語を切り替えます。[+]ボタンで「EN」、[−]ボタンで「JP」が選択できます。「EN」は英語、「JP」は日本語で、初期値は「JP」です。
入力切替	アナログ/デジタルの表示切替を行います。[+]ボタンで「D」、[−]ボタンで「A」が選択できます。「D」はデジタル、「A」はアナログです。アナログ/デジタル両方にコンピュータを接続している場合のみ有効です。どちらか一方しか接続していない場合は、設定の必要はありません。
リセット	[+]ボタンを押すと、OSDメニューのすべての設定値を初期値に戻します。

オプション

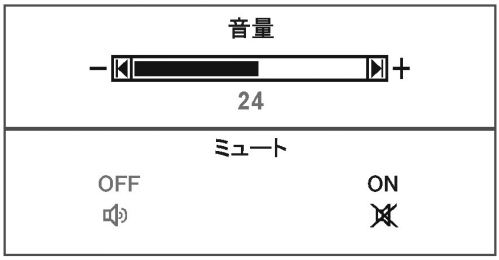


メニュー 水平位置	OSDメニューの位置を左右に移動して調整します。[+]ボタンで右方向に、[−]ボタンで左方向にOSDメニューが移動します。初期値は50で、設定値は0～100の範囲で調整できます。
メニュー 垂直位置	OSDメニューの位置を上下に移動して調整します。[+]ボタンで上方向に、[−]ボタンで下方向にOSDメニューが移動します。初期値は50で、設定値は0～100の範囲で調整できます。
メニュー オフタイマー	OSDメニューの自動終了時間を設定します。OSDメニュー表示時に、この項で設定した時間何も操作ボタンを押さなかった場合、自動的に設定内容が保存され、OSDメニューが終了します。初期値は10(秒)で、設定値は5～60(秒)の範囲で調整できます。
情報 (MODEL　S/N)	本機の型番(MODEL)およびシリアルナンバー(S/N)が表示されます。

ポップアップメニューで画面表示の調整を行う

OSDメニューを起動せずに、音量、輝度の調整を行います。

● 音量の調整をする



通常画面で[−]ボタンを押します。音量調整のポップアップ画面が表示されたら、次のようにスピーカ音量を調整します。

音　　量:[−]、[+]ボタンを押して調整します。

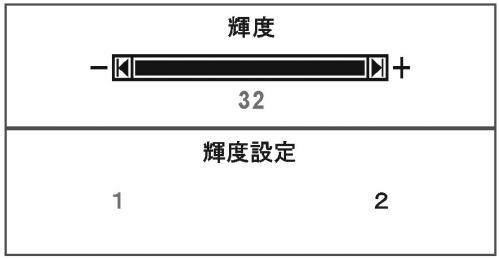
ミュート:[SEL]ボタンを押して OFF/ON を切り替えます。ミュートをONにすると音声は聞こえなくなります。ミュート時は、画面右上に赤色のミュートアイコンが表示されます。

＜ミュートアイコン＞

ポップアップメニューを消すときは、[MENU]ボタンを押します。メニューオフタイマーにより、自動的に消すこともできます。

☞ p.31「オプション」−「メニューオフタイマー」

● 輝度の調整をする



通常画面で[＋]ボタンを押します。輝度調整のポップアップ画面が表示されたら、次のように画面輝度を調整します。

輝　　度:[－]、[＋]ボタンを押して調整します。

輝度設定:[SEL]ボタンを押して[1]または[2]を選択します。

輝度設定「1」、「2」にそれぞれ輝度を設定して、使い分けることができます。

ポップアップメニューを消すときは、[MENU]ボタンを押します。

メニューオフタイマーにより、自動的に消すこともできます。

☞ p.31「オプション」−「メニューオフタイマー」

お手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

本機の外装の汚れやホコリを拭き取るときは、やわらかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ります。

叩いたり、硬いものでこすったりしないでください。また、ベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変形、キズ、破損の原因になり、本機が変質したり塗料がはげることがあります。

液晶パネル部分

液晶パネル部分は傷つきやすいため、液晶パネルについた汚れやホコリを拭き取るときは、乾いた布やティッシュペーパーなどで軽く拭き取ります。水や洗剤などは使わないでください。

困ったときは

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合に参考にしてください。

現象　　画面になにも表示されない。

確認と対処

- 本機の電源が入っている(電源ランプが点灯している)かどうか確認します。
- 電源コード、AC アダプタ、VGA(または DVI-D)ケーブルが、正しく接続されているか確認します。
- コンピュータの電源が入っているかどうか確認します。
- コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っているか確認します。
  ☞ p.38「対応信号タイミング」
- 本機がスタンバイ状態に入っている可能性があります。コンピュータのキーボードやマウスなどを操作してみてください。改善されない場合は、販売店、サービスセンターまたはテクニカルセンターまでご連絡ください。

現象　　画面がちらついたり、乱れたりする。

確認と対処

- コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っているか確認します。
  ☞ p.38「対応信号タイミング」
- 本機をアナログ接続で使用している場合は、自動画面調整を行ってください。
  ☞ p.22「自動画面調整について(アナログ接続のみ)」
- お使いのコンピュータがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を下げてみてください。
- 改善されない場合は、販売店、サービスセンターまたはテクニカルセンターまでご連絡ください。

修理を依頼する前に

修理の依頼をする前に、p.35「困ったときは」およびお使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』−「ディスプレイの不具合」の内容をよくお読みください。

それでも異常がある場合は、販売店、サービスセンターまたは修理センターまでご連絡ください。修理の受付を行います。詳しくは、『サポート・サービスのご案内』または『サポートと保守サービスのご案内』をお読みください。

なお、修理受付の際には、本機の「製造番号」をお問い合わせすることがあります。ご連絡いただく前に、本機の「製造番号」を確認しておいてください。

本機の「製造番号」は、次の2とおりの方法で確認できます。

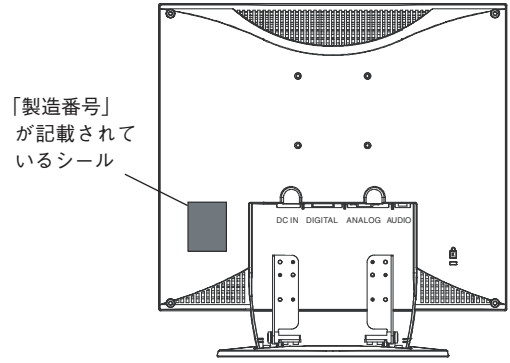
- **OSDメニューで確認する**

  「OSDメニュー」−「オプション」−「情報」のS/N項目に、本機の製造番号が表示されています。

  ☞ p.31「OSDメニューで画面表示調整を行う」−「オプション」

- **本機背面のシールで確認する**

  本機背面のシールの位置は、次のとおりです。



機能仕様一覧

サイズ		17.0型(可視域対角43.2cm)
パネル方式		カラーTFT
画素ピッチ		0.264mm×0.264mm
最大解像度		SXGA:1280×1024
最大表示色		約1619万色
同期周波数	アナログ	水平:30－80kHz/垂直:55－75Hz
	デジタル	水平:30－64kHz/垂直:55－75Hz
最大輝度		250cd/m^2
コントラスト比		350:1
応答速度		約25ms
視野角		水平:140°/垂直:120°
表示画面サイズ(横×縦)		約338mm×約270mm
調整機能	アナログ	自動画面調整、クロック、フェーズ、表示位置、自動バランス調整、輝度、輝度設定、コントラスト、色温度(プリセット3種、ユーザ設定)、音量、ミュート、拡大モード、メニュー言語、入力切替、リセット、メニュー位置、メニューオフタイマー
	デジタル	輝度、輝度設定、色温度(プリセット3種、ユーザ設定)、音量、ミュート、拡大モード、メニュー言語、入力切替、リセット、メニュー位置、メニューオフタイマー
入力信号	アナログ	アナログ RGB(同期:セパレート)
	デジタル	デジタルTMDS(DVI 1.0準拠)
入力端子	アナログ	ミニ D-sub　15ピン
	デジタル	DVI-D　24 ピン
音声入力端子		3.5mm　ステレオミニジャック
スピーカ		2W＋2W
入力電源		AC100±10%　50/60Hz(付属ACアダプタ使用)
消費電力		最大 45W
動作環境条件	温度	動作温度:10～35℃
	湿度	20～80%(結露しないこと)
外形寸法		約383mm×約376mm×約200mm(H×W×D)
質量		本体のみ:約5.1Kg
プラグアンドプレイ		VESA　DDC2B
パワーセーブ規格		国際エネルギースター(VESA DPMS/DVI DMPM準拠)

対応信号タイミング

本機には、あらかじめ次の入力信号とそれに対応する最適な画面設定がプリセット情報として登録されています。

本機が未対応(下記以外)の信号タイミングが入力された場合は、「入力信号が仕様範囲外です」と表示され、本機がスタンバイ状態に入ります。この場合は、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』をお読みになり、下記のいずれかの信号タイミングに設定してください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック (MHz)
640×350	31.5	70※	25.2
640×480	31.5	60	25.2
	37.9	72※	31.5
	37.5	75※	31.5
720×400	31.5	70※	28.3
800×600	37.9	60	40.0
	48.1	72※	50.0
	46.9	75※	49.5
1024×768	48.4	60	65.0
	56.5	70※	75.0
	58.0	72※	78.0
	60.0	75※	78.8
1280×1024	64.0	60	108.0
	80.0	75※	135.0

※アナログ信号入力時のみ。

ご注意

(1)本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2)本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4)運用した結果の影響につきまして、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。
本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果、罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

電波障害について

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

商標について

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

© エプソンダイレクト株式会社 2003

EPSON

このユーザーズマニュアルは古紙配合率100%再生紙を使用しています。